

# ポルトガル月報

2024年9月

(本月報は月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

## 【主要ニュース】

【内政】★大規模火災の発生

【外交】★モンテネグロ首相の国連総会出席

【経済】★2024年8月の消費者物価指数の発表

(上記主要ニュースには以下本文にて★が付されている)

## 内政

### ●世論調査の発表

9月7日、Intercampus社は政党支持に対する世論調査結果を発表した。世論調査の結果、野党の社会党(PS)が28.4%を獲得し首位となり、与党の民主同盟(AD)は2番手となった。野党第2党のシェーガ党(CH)は13.3%となった。議会の傾向としては、右派政党の支持率が左派政党を上回る。最新の世論調査の結果は以下のとおり。

政党名	支持率
社会党(PS)	28.4%
民主同盟(AD)*	26.6%
シェーガ党(CH)	13.3%
リベラル主導党(IL)	7.4%
左翼連合(BE)	5.7%
統一民主同盟(CDU)**	3.2%
自由党(L)	2.7%
人と自然と動物の党(PAN)	1.2%

\*社会民主党(PSD)と民衆党(CDS-PP)の連合

\*\*ポルトガル共産党(PCP)・緑の党(PEV)の連合

### ★ポルトガルでの大規模森林火災の発生

9月15日、当国中央部及び北部において大規模火災が発生した。緊急事態市民保護局によると、消火活動には5

千人以上の要因が投入され、コインブラ周辺では複数の高速道路が閉鎖された。17日、ルイス・モンテネグロ首相は、レベロ・デ・ソウザ大統領と共同記者会見を行い、災害事態宣言を発出し、同大規模森林火災に対する対応を説明した。消火活動には、スペイン、フランスを初めとするEU諸国の支援を受けた。19日には、同大規模森林火災の被害及び犠牲を受け、20日を国として喪に服する日すると発表した。アントニオ・アマーロ閣議大臣は、19日時点で消火活動を続けているすべての人々に感謝の意を表し、企業、地方自治体、消防隊、そして火災による被害で最も苦しんでいるすべての人々への支援と復旧への迅速な対応を約束した。また、同月30日には、レベロ・デ・ソウザ大統領及びモンテネグロ首相が被災地を訪問した。

### ●2025年度予算に関する政府と最大野党の対話

9月26日、ルイス・モンテネグロ首相はペドロ・ヌノ・サントス社会党書記長と来年度予算に関する会談を行った。しかし、予算案の承認に関しては26日時点では不透明である。政府は最大野党社会党の要求を踏まえた代替案を30日の週に提示するとしている。

## 外交

### ●ポルトガルのサントメ・プリンシペへの財政協力

9月12日、ジョアキン・サルメント財務大臣はグアダ

ルーペ/サントメ・プリンシペ外務大臣の訪問を受け、両国が経済的な課題を克服することを目的とした1,500万ユーロの融資に関する経済協力協定に署名した。両大臣は、両国の協力関係を強化し、サントメ・プリンシペの持続可能な開発を促進するためのパートナーシップの重要性を強調した。

**●ポルトガル欧州委員候補の発表**

9月18日、ウルスラ・フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長は、次期欧州委員候補を発表した。ポルトガルからは、マリア・ルイス・アルブケルケ欧州委員候補が、金融サービス貯蓄投資連合担当委員に任命された。同任命を受けて、ルイス・モンテネグロ首相は「アルブケルケ候補に割り当てられたポストは非常に重要である。同ポストは、我が国の競争力、資本市場同盟の実現、民間投資の促進、欧州のイノベーション能力の強化にとって不可欠な部門となる。」と述べた。欧州委員会委員長によって任命されたEU各国の欧州委員候補は、今後、欧州議会におけるヒアリングを経て、11月に同議会にて全候補者の承認投票が行われる見通し。

**★ルイス・モンテネグロ首相の国連総会ハイレベル会合への参加**

9月24日から26日にかけて、ルイス・モンテネグロ首相はニューヨークで行われた国連総会ハイレベルウィーク会合へ参加した。25日、モンテネグロ首相は国連本部にてアントニオ・グテーレス国連事務総長と面会し、26日に同首相は第79回国連総会一般討論演説にて多国間主義、平和、国連安全保障理事会の改革に対するポルトガルのコミットメントを再確認する内容の演説を行った。加えて、同首相は演説の中で、気候変動、武力紛争、社会経済的不平等といった課題に取り組むためのグローバル・システムの改革の必要性に言及した。加えて、ポルトガル語圏諸国共同体（CPLP）が進めるポルトガル語の国連公用語化のイニシアティブ支持を表明し、同言語は世界で4番目に多く母国語として話されており、全ての大陸で2億6,000万人以上の人々を統合していると述べた。

**経済**

**●2024年8月の電源構成における再生可能エネルギーの割合発表**

9月12日、ポルトガル再生可能エネルギー協会（APREN）は国内の再生可能エネルギーに関するデータを発表した。ポルトガルの2024年8月の電源構成における再生可能エネルギーの割合は77.5%となった。種別では、風力が34.1%、太陽光が25.2%、水力が19.4%、バイオマスが11.5%となった。ポルトガルの電源構成における各月再生可能エネルギーの割合は下記。

	4月	5月	6月	7月	8月
再エネ割合	87.6	84.5	83.4%	77.1%	77.5

**★2024年8月の消費者物価指数の発表**

9月11日、国立統計院は2024年8月の消費者物価指数（CPI）を発表した。同月の消費者物価指数は1.9%となり、前月から0.6%減少した。この数値は、欧州連合統計局によって発表されたユーロ圏の同時期の数値（2.2%）をわずかに下回る。ポルトガル及びユーロ圏の過去の消費者物価指数は以下のとおり。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
葡	2.3%	2.2%	3.1%	2.8%	2.5%	1.9%
ユーロ圏	2.4%	2.4%	2.7%	2.5%	2.6%	2.2%

**●2024年9月の貿易取引数値の発表**

9月9日、国立統計院（INE）は2024年9月の貿易取引量の変化に関する数値を発表した。9月の貿易取引量は前年と比較し、輸出が23.5%増、輸入が15.5%増となった。

(了)